

考え議論する道徳の授業づくり

～ 11月11日 道徳教育地区別推進協議会 田島小学校 ～

今年度の道徳教育推進校である田島小学校では、宇都宮大学 和井内良樹准教授を3回講師に招き、「家庭・地域と連携した道徳教育」の研究を進めてきました。

推進協議会から指導改善のヒントについてお伝えします。

【田島小5年1組担任 蒲倉 賢教諭の研究授業】

主題：自由と責任 教材：「おもしろければいいの」

＜導入＞

- ◎ アンケートの活用
- ◎ 学校行事での体験との関連



＜展開＞

- ◎ 心情柱を使った話し合い
- ◎ 役割演技
- ◎ 自己内対話

＜終末＞

- ◎ 地域人材の活用
- ◎ 振り返りの時間の工夫



PTA 広報委員長さんにお話をいただきました。児童が真剣に話し合う姿が印象的でした。
(保護者や地域の方も参観)

【田島小5年2組 和井内良樹先生の提案授業】

主題：気持ちを形に 教材：「三枚の銀貨」(自作資料)

◎ トリオ学習による提案授業

＜方法＞

- ① 3人のグループを作る。
- ② 発表順を決める。
- ③ グループで話し合う意図や方法を確認する。
 - ・ 発問を受けたグループ内での話し合い
 - ・ 発表順による挙手での全員発表
 - ・ 発表する際の他の2人によるサポート
 - ・ 全体交流では、自由な意見発表も可



「気持ちや心はお金では表せないだろうか」という課題について、必然性をもって考え、伝え合う学習でした。児童は、自分の意見を堂々と発表し、考えを深めていく様子が見られ、次のような授業改善のポイントが見えてきました。

- 発問の精選
(教師の発話は最小限に)
- 学習状況の丁寧な見取り
(記述やつぶやき等)
- 話し合いのコーディネート
(児童主体の学習)



要請訪問から ～各校での道徳科での実践を通して～

【よかった点】

- 導入の工夫
(アンケート、実物、視覚教材の活用、体験活動との関連等)
- 立場の違いを可視化させた話し合いの工夫
(思考ツールやネームプレートの活用等)
- ワークシートの工夫や道徳ノートの活用
(問いを空欄にしたシートや保護者との連携欄等)
- 授業を振り返ることができる板書の工夫
(考えを比べ、新たな見方を支える足跡となる)

【改善点】

- 指導の意図〔道徳的価値、児童生徒の実態、教材の活用〕を明確にした授業の展開
(どんなことを考えさせ、気付かせたいのか)
- 少人数のよさを引き出す話し合いの工夫
(話し合う目的を明確にし、目的に応じた活動を)
- 考え、話し合い、価値の内面化を図る時間の確保
(教師の話す時間減へ：発問の精選、話し合いのコーディネート等)

教育課程編成に向けて ～4つの視点の確認を～

一年間の道徳教育をまとめる大切な時期です。校内研修の活性化とともに、次の4点を教育課程編成会議等で協議し、共通理解を図っていきましょう。

- ① 教育目標、運営ビジョンを受けた重点内容項目の設定
- ② 学校行事等との関連を図った内容項目の配置
- ③ 保護者による道徳の授業を参観する機会の確保
- ④ 地域教材「ふくしま道徳教育資料集」の活用

福島県教育庁南会津教育事務所
学校教育課

TEL 0241-62-5255

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec//0510a/>

